

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム たなごころ

作成日: 平成 30 年 3 月 19 日

目標達成計画書

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議を活かした取り組み	定期的に運営推進会議を開催しているが、参加者が固定化し、報告会が中心となっているので新しい参加者を増やして会議の運営や議題について検討し、参加委員にとっても知識や情報を得られる有意義な会議として、ホームの運営や地域の活性化に繋げていくことを目指していく。	参加委員を有識者・知見者から新たに募り、活発な意見が交わされるよう会議の活性化を図る。家族や地域役員は仕事をしている方が多く、参加が難しいが、会議と行事を重ねたり開催日時を工夫することで参加していただけるよう取り組む。	12ヶ月
2	15	職員を育てる取り組み	勉強会や研修を行い、管理者を中心にチーム介護を実践し、看取り介護まで実施する体制が整っているが、これから若い世代の職員の知識・実践力の向上とリーダーの育成を行い、安定したグループホームの運営を目指す。	職員の介護技術や習熟度に合わせて外部・内部研修に参加し、自己学習意欲・介護力の向上に繋げ、管理者やベテラン職員が学びを現場の実践に活かせるよう導くことに取り組んでいく。	12ヶ月
					ヶ月
					ヶ月
					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。